

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	072 市民意識調査										
予算科目	01-020108-11		企画調整に要する経費					担当部課 係名	政策イノベーション部統計・データ利		
市長公約											
戦略プラン										新規・継続	継続
										事業分類	自治事務（任意）
										事業体制	一部委託
個別計画									事業期間	毎年度	
根拠法令等									SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市民
目的	市の現状やまちづくりの取組に対する満足度及び市が進める主要な施策に対する市民の意見を把握するため、アンケート調査を実施する。
概要 (取組内容)	無作為に抽出した3,000人に調査票を郵送し、回答は郵送又はWEBで回収する。調査結果は全庁で共有し、各部署において、市民の意見を把握し今後の施策形成へ活用する。また、市民向けに調査結果をホームページで公表する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	3,949	4,741	4,741	3,000	4,741	
	決算額	(千円)	3,718	1,977	3,156	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,718	1,977	3,156	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,393	1,399	1,395	1,419	1,419	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	10.50	15.00	5.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	結果の公表（HP、広報誌）

指標の推移

1	指標名	アンケート回収率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	49.4	0.0	58.4	50.7	48.2	0.0
	指標の概要	(回収数／発送数) × 100% 【対象者】 H27年度：18歳以上の市民2,400人、H29～R5年度：18歳以上の市民3,000人					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		継続・新規の設問内容を精査し、設問数の増加を抑制した。
成果		市の現状、まちづくりへの取組に対して市民意識や、市民が重要と感じている施策や社会情勢から重点的な取り組みが必要な課題について、市民の意向が確認できた。
課題	業務	現在小設問も含めると約130問の調査となっており、回答者の負担が大きいため、既存質問の見直しを行いつつ新規設問の抑制を行う必要がある。
	組織、予算等	なし
改善目標		回答者負担軽減のため、設問を厳選し、可能なかぎり設問数を削減する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	082 統計管理及び統計情報提供事務												
予算科目	01-020501-11					統計調査員に要する経費					担当部課 係名	政策イノベーション部統計・データ利	
市長公約													
戦略プラン												新規・継続	継続
												事業分類	自治事務（任意）
												事業体制	職員のみ
個別計画											事業期間	毎年度	
根拠法令等											SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学する者、市職員									
目的	統計調査を円滑に実施するため、全体的な管理業務を行う。また、市勢の現状を明らかにするため、統計資料を総合的に記録した統計書を作成・発行する。									
概要 (取組内容)	・調査員の確保対策事業及び登録調査員の管理業務の実施 ・市の概況・人口・産業等15分野の市勢に関するデータを掲載する「統計つくば」の作成・発行									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	3,447	4,193	3,824	7,808	8,125	
	決算額	(千円)	3,108	4,177	3,757	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	19	3,513	2,587	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	3,083	664	1,170	0	0
		その他	(千円)	6	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	743	691	696	701	701	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	24.00	4.00	2.00	4.00	4.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	統計つくばの発行
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	統計つくばの配布部数 (部)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	32.0	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	統計つくばの配布部数を指標としていたが、提供数が少ないため、H28年度から市ホームページを利用した電子媒体での提供を基本とした。R3からは印刷された冊子の頒布をとりやめた。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		なし
成果		つくば市に関する統計情報について、市民及び庁内への適切な情報提供を行うことができた。 統計つくばに掲載する表やグラフを見やすく分かりやすい形にするため、レイアウト等の変更を行った。
課題	業務	なし
	組織、予算等	なし
改善目標		なし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	083 つくば市統計調査員連絡協議会事務												
予算科目	01-020501-11					統計調査員に要する経費					担当部課 係名	政策イノベーション部統計・データ利	
市長公約													
戦略プラン												新規・継続	継続
												事業分類	自治事務（任意）
												事業体制	職員のみ
個別計画											事業期間	毎年度	
											SDGs	16平和と公正をすべての人に	
根拠法令等													

事業の概要

対象	市に登録された統計調査員
目的	統計調査員としての能力の向上を図る。
概要 (取組内容)	つくば市統計調査員連絡協議会と共働して統計調査員を対象とした研修会を開催することにより、統計調査の重要性を認識いただくとともに調査員としての資質の向上を図る。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	248	229	229	0	0	
	決算額	(千円)	124	114	100	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	66	72	61	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	58	42	39	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計	(千円)	684	691	696	0	0	
人件費	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	4.00	2.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	研修会アンケート (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績	100.0	0.0	0.0	0.0	95.4	0.0
	指標の概要	研修効果を評価・測定するため実施するアンケート調査で、「統計調査を実施する上で今回の研修会は参考になったか」の問いに対し、「大いに参考になった」及び「参考になった」と回答した割合					

2	指標名	研修会参加者数 (名)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	95.0	521.0	429.0	439.0	92.0	0.0
	指標の概要	調査員を対象とした集合研修の参加者数（R2年度からR4年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、登録されている調査員全員に研修資料の配布を行った。実績値は登録調査員の数）					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		前年度までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修資料の配布をもって研修会としていたが、今年度は対面講義形式で研修会を実施し、各調査員の接遇力の向上と個人情報保護意識の啓発を行った。統計調査員をより多く確保するため、庁内イントラ掲示板で職員やその家族に調査員の募集を行った。
成果		研修会を実施したことで、統計調査員の能力を向上させることができた。 庁内イントラ掲示板に統計調査員の募集記事を掲載したことで、公募の調査員が増えた。
課題	業務	なし
	組織、予算等	なし
改善目標		なし

評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	今年度で事業が終了する。
優先度	-	今年度で事業が終了する。

方向性

方向性	廃止
理由	当市の統計調査の状況を見ると、調査は円滑に実施され、調査員の質・量ともに大きな問題は見られず、協議会は一定の役割を果たしたと考えられることから、今年度末で協議会を解散するため。なお、調査員研修会等の必要な事業については、今後も引き続き市が主体的に実施する。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	086 国・県委任の基幹統計調査事務									
予算科目	01-020502- 基幹統計調査費					担当部課 係名	政策イノベーション部統計・データ利			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	法定受託事務			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
						SDGs	16平和と公正をすべての人に			
根拠法令等	統計法									

事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学する者、市職員
目的	各分野の実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得る。
概要 (取組内容)	各種統計調査の実施にあたり、調査員説明会を開催し、調査が円滑に進むよう調査の趣旨及び調査方法等を具体的に説明する。調査終了後は、調査票未提出の調査対象者へ督促を行うとともに、回収した調査票等を審査・点検し県統計課へ提出する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	8,063	3,497	9,172	16,196	102,496
	決算額	(千円)	5,538	3,572	8,657	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,538	3,572	8,657	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,418	8,302	8,359	15,511	24,526
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.20	1.20	2.20
		正職員時間外勤務	(時間)	89.00	53.00	29.00	130.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	HP、広報誌等による周知
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		調査員を選定する際にGISを活用し、作業時間を縮減することができた。
成果		調査期日までに調査結果を報告することができた。調査単位区の状況把握や提出された調査票の審査に際しては、各種行政資料や統合型G I Sを活用し作業の効率化を図った。
課題	業務	統計調査に従事可能な登録調査員が慢性的に不足しており、各調査区を担当する調査員の選定に苦慮した。
	組織、予算等	なし
改善目標		調査員確保に係る他自治体の取組み事例を調査し、参考とすることで、円滑な調査員の選定に資する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	－	法令等により市の実施が定められている。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	088 証拠に基づく政策立案（E B P M）の推進												
予算科目	01-020108-21					統計・データ利活用の推進に要する経		担当部課 係名	政策イノベーション部統計・データ利				
市長公約													
戦略プラン										新規・継続	継続		
										事業分類	自治事務（任意）		
										事業体制	職員のみ		
個別計画											事業期間	毎年度	
											SDGs	16平和と公正をすべての人に	
根拠法令等													

事業の概要

対象	市職員									
目的	限られた資源の効果的・効率的な活用及び行政への信頼性向上のため、事例や経験ではなく証拠に基づく政策立案・事業展開を進める「E B P M」を推進する。									
概要 (取組内容)	・各課からの相談に応じたナッジ活用支援、好事例の庁内への情報提供 ・他自治体の情報収集や筑波大学との連携通じた、知識の習得及び市の事業への導入検討 ・「一般社団法人Data for Social Transformation（D S T）」の自治体協議会への参加を通じた企業や研究機関、他自治体との連携									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	0	87	92	107	107
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2, 805	2, 798	2, 788	2, 836	2, 836
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0. 40	0. 40	0. 40	0. 40
		正職員時間外勤務	(時間)	29. 00	30. 00	10. 00	30. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし。
成果		・各課からの相談に応じナッジ活用支援を行った。 ・ナッジ勉強会を月1回程度実施し、ナッジ活用事例の紹介、研究、活用結果の報告等を行った。 ・D S Tにおける研究テーマ検討や研究結果の報告等の会議を通じて、E B P Mの実現に向けて見識を深めることができた。
課題	業務	E B P Mの推進に必要な考え方の庁内への展開
	組織、予算等	特になし。
改善目標		E B P Mの実現に向け、職員に周知すべき必要な考え方を庁内に展開する

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	008 保有データの活用環境整備									
予算科目	01-020108-21 統計・データ利活用の推進に要する経					担当部課 係名	政策イノベーション部統計・データ利			
市長公約										
戦略プラン	IV-3	2	1	データ利活用研修の実施、オープンデータ		新規・継続	継続			
	IV-3	2	2	保有データを庁内活用できる環境の整備		事業分類	自治事務（任意）			
	IV-3	2	4	データを活用した課題解決の場の提供		事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市デジタル・ガバメント推進方針					事業期間	毎年度			
	官民データ活用推進基本法					SDGs	16平和と公正をすべての人に			
根拠法令等										

事業の概要

対象	市職員、市民（市内に在住、在勤、在学する者を含む）、民間企業等									
目的	データを活用できる環境整備や人材育成を通し、業務の効率化・高度化を実現する。また、市民や民間企業等におけるオープンデータの利活用を促進する。									
概要 （取組内容）	・ 日常業務や政策検討において、データを活用できる人材を育成するため、職層に応じたデータ利活用研修を実施する。 ・ 公開可能なデータについて、利用しやすい（機械可読性のある）形式で積極的にオープンデータとして公開する。 ・ 庁内各課等で保有するデータの可視化・集計・分析を支援する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,587	4,082	4,082	7,097	7,097	
	決算額	(千円)	1,250	3,943	3,974	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,250	3,943	3,974	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,963	6,994	6,966	7,150	7,150	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	53.00	75.00	24.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	利用しやすいオープンデータ公開件数（累計）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	30.0	60.0	90.0	110.0	180.0	200.0
	実績	83.0	145.0	160.0	161.0	192.0	0.0
	指標の概要	(IV-3-②)データで市民を豊かにするまちの推進) PDFを除くオープンデータの公開件数（累計）					

2	指標名	データ利活用研修受講者数（累計）（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	150.0	270.0	390.0	510.0	630.0	750.0
	実績	191.0	357.0	493.0	618.0	731.0	0.0
	指標の概要	(IV-3-②データで市民を豊かにするまちの推進) 人事課の職層研修（データ利活用研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）受講者数（累計）					
3	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		市のデータ利活用の取組等の動向に合わせて、データ利活用研修の内容の一部見直しを実施した。また、データを取り扱うためのスキルの向上のため、職員向けデータ管理・分析セミナーを開催した。
成果		・職層別のデータ利活用研修及びデータ管理・分析セミナーにより、職員のデータリテラシーを向上 ・住民基本台帳等実際のデータを活用した1歳1か年行政区単位の人口推計を更新 ・人口データや市民意識調査データを可視化・集計など分析しやすい形に加工した補助ツールを更新
課題	業務	庁内各課等でそれぞれ保有するデータの活用推進
	組織、予算等	特になし。
改善目標		ニーズに基づき庁内各課等でそれぞれ保有するデータの可視化・集計・分析を支援する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-